



江戸川区立平井小学校

学校だより

令和6年 6月 1日

校長 渡 邊 法 子

江戸川っ子なわ跳びチャレンジ

副校長 山根 宏之

令和6年度より運動習慣の定着を図ることや、より一層の体力向上を目指すことを目的に、江戸川区内の全小学校で各学期に2週間程度、**江戸川っ子なわ跳びチャレンジウィーク**として、全校児童が「短なわ跳び」に取り組むことになりました。本校では5月中旬、朝と中休みの時間に校庭と体育館で実施しました。保護者の皆様には子どもたちのなわの準備や、なわの長さの調整にご協力いただきましてありがとうございました。

チャレンジウィーク期間中に子どもたちは今できる技に取り組んだり、新しい技に挑戦したり、それぞれが自分のペースで楽しみました。また、挑戦していた技ができるようになったり、友達と跳び方や跳ぶ人数を工夫することで交友関係を深めたりする姿も見られました。子どもたちからは、チャレンジウィークが終了してもジャンピングボード（ジャンプをしやすくする補助板）を今後も設置してほしいという声が挙がりました。今でも休み時間になると、なわ跳びを続けて練習している子どもたちもいます。“継続は力なり”です。どこまで技能を高められるか楽しみです。いろいろな跳び方に挑戦することで巧みな動きを身に付け、同じ技に長い時間取り組むことで持久力を高めることにもつながります。

なわ跳びウィークが終わった翌週には、区教育委員会の企画による「江戸川っ子なわ跳び出前授業」が行われました。講師に、藤澤 祥太郎氏（ナフトピライド代表 なわ跳びパフォーマー）をお招きし、全校集会でのなわ跳びパフォーマンスや、各学年の発達段階に合わせた授業を実施していただきました。集会では身近な前跳び、交差跳び、二重跳びから、不思議な跳び方、そして短すぎるなわ、長すぎるなわを使って跳ぶなど、多彩な技を目の前にした子どもたちから大きな歓声があがっていました。

体験授業の後に6年生が「何重跳びまでできるのですか？」と藤澤氏に質問すると、「六重跳びです。」と答えられました。さらに「どうしてそこまでできるようになったのですか？」に対して「練習です、練習。」とおっしゃっていました。その後、藤澤氏から「六重跳びは、すぐに行うのは難しいので、四重跳びを見せます。」と、その場で四重跳びを披露してくださいました。子どもたちは初めて見る四重跳びに圧巻され、言葉もでない様子でした。

体験学習を通して、本物に触れることの学習効果をいつも強く感じます。実際に体験することによってこれまでより世界が広がり、さらに興味や関心、意欲につながっていきます。「心が動くと体も動く」といいます。もっともっと新しい世界を目指して、さらに深く思考し追求し、そして練習し、今よりも高い目標をもって自分を高めていける子どもになってほしいです。自らの手で“知る力”も、豊かに“感じる力”もたくさん育てられるようにしていきたいです。

日	曜	朝	6月の行事予定
1	土	集会	学校公開 CM集会 子どもまつり
2	日		
3	月	朝会	安全・SNS指導 スタディーウィーク 平井っ子家庭ルール 委員会卒アル撮影
4	火	SW	体カテスト始 SC
5	水	SW	研究授業(6) SC
6	木	SW	
7	金	SW	
8	土		科学センター開室式
9	日		
10	月	朝会	水泳指導始 クラブ卒アル撮影
11	火	24	ソフトボール投げ SC
12	水	16	花いっぱい運動(3) モルモット体験(1)
13	木	35	
14	金	読書	米作り出前授業(5)
15	土		
16	日		
17	月	朝会	
18	火	24	たてわり班活動 SC
19	水	16	避難訓練
20	木	35	音楽学習教室(6)
21	金	集会	日光事前健診(6) 体カテスト終
22	土		
23	日		
24	月	朝会	日光移動教室始(6)
25	火	24	SC
26	水	1	日光移動教室終(6)
27	木	35	色覚検査(1・4)
28	金	読書	水道キャラバン(4)
29	土		
30	日		

SC…スクールカウンセラー勤務日 () …学年

SW…スタディーウィーク

朝のゆうゆうタイムは、曜日ごとに、1・6年、2・4年、
3・5年に分かれて行います。

※6月1日時点での予定です。

【6月の生活目標】

優しい言葉をかけよう

平井小の特別支援教育

特別支援教育コーディネーター 細谷希

① エンカレッジルームの運営

エンカレッジルームと呼ばれる部屋が2部屋あります。主な活用法は、以下の3つです。

- ・気持ちを落ち着かせるための部屋
- ・子供たちが、スクールカウンセラーに相談する部屋
- ・保護者の方が、スクールカウンセラーに相談する部屋

このように、「みんなが安心して学校生活を送るための部屋」ということを、子供たちに伝えています。

昨年度は、特別支援教室もエンカレッジルーム活用法の1つでした。エンカレッジルームを活用する日もありますが、今年度から別の教室（ラビットルーム）へ移動となりました。

② 保護者の方の相談先

上記のように、保護者の皆様も、お子様のことで気になっていることを相談していただけます。毎週火曜日に、スクールカウンセラーが来校しています。面談は予約制になっていますので、希望の際は、担任または学校までご連絡ください。

さらに、教育相談室（グリーンパレス）、発達支援相談室「なないろ」（小松川区民館隣）など、区の相談機関もあります。学校に資料もありますので、まずは担任までご相談ください。

今年度は、5年学年主任の竹村と養護の細谷が、特別支援教育コーディネーターを務めます。よろしくお願いたします。

学校公開のご参観ありがとうございました

5月31日（金）6月1日（土）の学校公開に多くの方が来校されました。QRコードによる出席確認のご協力をいただきましてありがとうございました。また、学校公開の感想もQRコードでお願いしました。いただきました感想、ご意見は、今後の教育活動に生かしてまいります。

学校ホームページ

右のQRコードからでも
サイトにアクセスできます。
月の下校予定も確認できます。



<http://edogawa.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1310040>